

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

エントリー学校名：
 鹿児島県いちき串木野市立旭小学校

活動名：
 校時表の改善を通して
 働き方改革 & 学力向上 win win

解決すべき課題：

- 児童の下校時刻を早めて、放課後の時間を有意義に過ごさせたい。
- 放課後に教職員の教材研究の時間を確保したい。
- 学力向上に向けた時間を確保したい。

目標・方針：
 校時表を作成するに当たり、まず児童が活動する時間を確保し、十分な活動を保ちつつ早めに下校できるように改善を図る。また、そのことにより教職員の教材研究の時間確保につながる。また、登校してからの活動時間を短くすることで学力の定着が懸念されるので、学力向上に向けた時間確保について提案する。

活動内容：

- 職員会議で令和元年度に活用していた校時表をもとに改善点を出し合った。
- 改善点をもとに様々な案を提案した。午前中の活動、給食時間の位置付け、午後の活動から放課後までの流れを数案提案した。
- 放課後の充実と共に、学力向上に向けた時間の設置も提案した。
- 校時表が確定し令和 2 年度に入り学力向上に向けた取組で、充実した時間が送れるように工夫した。

活動の成果：

- 朝の活動が 1 つになり活動がしやすくなった。
- 放課後に成績処理や教材研究などをする時間が増え、定時に帰宅する日が増えた。
- 学力向上に向けた時間があり、充実した時間を過ごすことができている。
- 管理職がクラスに入り、複式学級を解消し取り組むことで十分な個別指導ができている。
- 児童も下校が早くなったことで、家庭で有効に時間を活用し、睡眠時間や家庭学習の時間の確保にもつながった。

アピールポイント（アイデアや工夫）：

- 校時表を作成するに当たり、簡素化できることを考慮したが、完全に廃止するのではなく、週 1 日にまとめることで充実する時間の確保につながった。
- 授業時間を確保して下校時刻を早めることで、教職員の教材研究等の時間確保になり、児童にとっては放課後時間の有効活用により、習い事の前に家庭学習を終わらせたり、お手伝いをしたりと家庭での過ごし方に変化が出てきた。その中で、就寝時刻が早まり、睡眠時間の確保にもつながった。
- 学力向上を目的とした時間を特設したことで、各学年それぞれの課題を重点的に学習させることで十分な定着を図れる時間がとれる。また、複式学級を解消し単式化して取り組むことで少人数での学習スタイルで児童も質問がしやすい雰囲気もあり、達成感と満足感のある時間を過ごせる。

<写真、図表添付欄>

校時表の変化

図 1 令和元年度 校時表

図 2 令和 2 年度 校時表

時間	月	火	水	木	金	土	日
8:15 ~ 8:25	朝の会						
8:25 ~ 8:40	ぎらめぎタイム ① 100マス作文 ② クロッキー (移動含む) ③ 100マス作文 ④ クロッキー	係・委員会 職員朝会	① 仲良し体育 ② 一輪車 ③ 仲良し音楽 ④ 縄跳び	① 全校朝会 ② 安全タイム ③ 全校集会 or 学びふれあい	① 係・委員会 ② 緑化タイム ③ 代読・読書タイム (2ヶ月に1回)		
8:40 ~ 8:50	国語タイム	読書タイム	算数タイム	読書タイム	(6:30:50)		
8:50 ~ 9:05	1	1	1	1	1	1	1
9:05 ~ 9:45	準備・移動						
9:45 ~ 10:30	2	2	2	2	2	2	2
10:30 ~ 10:45	準備・移動						
10:45 ~ 11:30	3	3	3	3	3	3	3
11:30 ~ 11:40	準備・移動						
11:40 ~ 12:25	4	4	4	4	4	4	4
12:25 ~ 13:05	給食指導 歯みがき						
13:05 ~ 13:50	休憩						
13:50 ~ 14:00	清掃指導(月・水・金:中そじ、火・木:外そじ)						
14:00 ~ 14:10	着がえ・準備・移動						
14:10 ~ 14:55	5	5	5	5	5	5	5
14:55 ~ 15:05	帰りの会・準備・移動						
15:05 ~ 15:50	あさひタイム (基礎練習)	①委員会 ②教科等 ③クラブ		6	6	6	6
15:50 ~ 16:00	移動						
16:00 ~ 16:05	放課後の時間の確保 (R1 より 30 分長い)						
16:15 ~ 16:45	職員研修 職員会議	担任会	各種委員会 教材研究	職員体育 教材研究	教材研究	下 会議・研修	15:15~15:30

朝の活動を 1 つにした

休み時間を 5 分間にした

放課後の時間の確保 (R1 より 30 分長い)

あさひタイム 14:40 ~ 15:10

学力向上に向けた特設時間

グラフ 1 放課後時間について (職員)

グラフ 2 放課後時間の活用法 (児童)

写真 1 <学力向上に向けた時間の様子>

[学力向上に向けた時間について]
 (職員)
 ・取組としてとてもよい。
 ・集中して問題に取り組める。
 ・全国学力調査のような活用問題に取り組めるのでよい。
 (児童)
 ・分からないところが分かるようになってうれしい。